

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2011/12/30	2012/8/31	2012/9/7	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	8,455.35	8,839.91	8,871.65	11,408.17	2010/4/5	8,135.79	2011/11/25
NYダウ	ドル	12,217.56	13,090.84	13,306.64	13,338.66	2012/5/1	9,430.08	2009/10/2
円/ドル	円	76.91	78.39	78.24	94.99	2010/5/4	75.35	2011/10/31

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

週末、ECB（欧州中央銀行）が無制限の国債購入を柱としたOMT（アウトライト・マネタリー・トランザクション）を発表したことを受けて大幅上昇

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が+31.74円（+0.36%）、TOPIXが+3.53ポイント（+0.48%）と週末、ECBが無制限の国債購入を柱としたOMTを発表したことを受けて大幅に上昇する展開となりました。業種別（東証33業種）にみると、保険業、証券・商品先物取引業、鉄鋼など16業種が上昇する一方、海運業、電気・ガス業、陸運業など17業種が下落しました。週明け3日の日本株市場は、週末に発表された中国のPMI（製造業購買担当者景気指数）が50を割込んだことを受けて中国関連株中心に下落して始まった後、10時に発表された中国非製造業のPMIが56.3と50を上回りかつ前月比でもプラスとなったことを受けて、持ち直す展開となりました。しかしその後6日にかけては、ECB定例政策委員会や米国雇用統計を控え積極的な売買が控えられる中、①4日に発表されたISM製造業景況指数が市場予想を下回りかつ50を下回ったこと、②19日に最近の1日当たりの売買高の半分以上となる6,000億円超の資金調達を目指すJALの再上場を控え、需給悪化懸念が根強かったことなどから軟調な展開が続き、日経平均は8,600円台まで下落しました。しかし6日夜、ECBが無制限の国債購入を柱としたOMTを発表したことを受けて欧米株市場が大幅な上昇をみせたことから、週末7日の日本株市場は大きく上昇して始まり、終日高値圏で推移しました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目		前回
9月10日	Mon	日本	景気ウォッチャー調査－現状判断DI	8月	44.2
			景気ウォッチャー調査－先行き判断	8月	44.9
9月11日	Tue	米国	貿易収支	7月	-429億ドル
9月12日	Wed	日本	機械受注(前月比)	7月	5.6%
			第三次産業活動指数(前月比)	7月	0.1%
		米国	企業物価指数(前年比)	8月	-2.1%
			欧州	FOMC(米連邦公開市場委員会)13日まで	
9月13日	Thu	米国	ドイツ憲法裁判所のESM(欧州安定メカニズム)の合憲性判断		
		国際	オランダ総選挙		
9月14日	Fri	米国	PPI(生産者物価指数)(除食品&エネルギー/前年比)	8月	2.5%
			国際	G20(20カ国・地域)財務相・中央銀行総裁会議(メキシコ、14日まで)	
		米国	CPI(消費者物価指数)(除食品&エネルギー/前年比)	8月	2.1%
			小売売上高(除自動車)	8月	0.8%
			鉱工業生産	8月	0.6%
欧州	ミシガン大学消費者信頼感指数	9月	74.3		
		EU(欧州連合)財務相会合(キプロス 15日まで)			

当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～ 警戒・期待感の交錯、8000円台後半で一進一退 ~

今週の日本株市場は、週末に発表された米国の雇用統計が市場予想を大きく下回ったことで、米国の景気先行きに対する警戒感とFRB（米連邦準備理事会）による追加金融緩和への期待感が交錯し、8000円台後半の一進一退の展開を想定しています。なお、注目される12・13日のFOMC（米連邦公開市場委員会）でのQE3（量的緩和第3弾）の動向次第では、14日の株価はボラティルな動きになるとみえています。また可能性は低いと想定していますが、12日に行われるドイツ憲法裁判所のESM（欧州安定メカニズム）の合憲性判断でESMの発足に影響を及ぼすことがあれば、一転して急反落が見込まれ注視が必要と考えています。経済指標では、米国で11日に発表される貿易収支、14日のCPI（消費者物価指数）、小売売上高、鉱工業生産、ミシガン大学消費者信頼感指数、日本では10日の景気ウォッチャー調査、12日の機械受注、欧州では12日のオランダ総選挙、14日のEU（欧州連合）財務相会合などが重要と考えています。